



安心して快適な社会のために **YMCA福祉専門学校**



2005年(平成17年)度生募集中

～厚生労働省指定通信課程～

社会福祉科 教育訓練給付制度指定講座

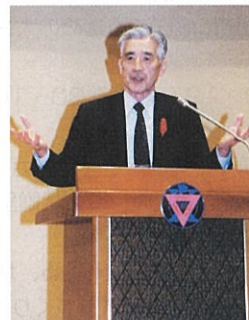
- 取得資格 社会福祉士国家試験受験資格
- 修業期間 1年6ヶ月(一般養成課程)
- 入学資格 ①4年制大学等を卒業した方
②3年制短大等卒業+実務経験1年以上の方
③2年制短大等卒業+実務経験2年以上の方
④実務経験4年以上の方

精神保健福祉科

- 取得資格 精神保健福祉士国家試験受験資格
- 修業期間 10ヶ月(短期養成課程)
- 入学資格 ①福祉系4年制大学等を卒業した方
②福祉系3年制短大等卒業+実務経験1年の方
③福祉系2年制短大等卒業+実務経験2年の方
④社会福祉士の方

これからの社会福祉とYMCAへの期待

異質性の認識と受容、これがこれからの世界の、また福祉社会の課題です。これからはお互いの違いを学び、その違いを喜びあえる社会にしていかなければなりません。それが福祉社会であり、その福祉社会を作ろうという運動を進めていくのがYMCAであろうと期待しています。



横須賀基督教社会館館長
阿部 志郎

YOKOHAMA YMCA
College group

〒214-0014 川崎市多摩区登戸3032-2

電話：044-932-2015

<http://www.yokohamaymca.org>

■スクーリングは湘南とつかYMCA(戸塚駅徒歩5分)で行います

『福祉つるみ』第46号 2005年1月発行 発行：社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会
〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1 UNEXビル5階 TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616
<http://www.yturumi-shakyo.jp/> ●e-mail: yturumi-shakyo@guitar.ocn.ne.jp

企画編集：株式会社オープン 印刷：ツルミ印刷株式会社

●次号(第47号)は、平成17年4月1日発行予定です。特集…社会福祉大会報告等(予定)

※『福祉つるみ』は録音版・点字版も用意してあります。詳しくは、横浜市鶴見区社会福祉協議会までお問い合わせください。

FUKUSHI-TSURUMI

福祉つるみ vol.46

横浜市鶴見区社会福祉協議会

<http://www.yturumi-shakyo.jp/>

●平成17年1月1日発行

C O N T E N T S

こんにちは、地区社協です ⑮

ふれあいの輪をもっと広げたい

●小野町地区社会福祉協議会

佐藤 信男副会長より／善意銀行寄付者／つるボラ登場！／
鶴見区ボランティア食事サービス連絡会の活動／
読者の声・Q&A／表紙クイズ&読者アンケート／
定期購読のお誘い ……………2～3

おやこのひろば「そらまめ」集合!

第22回ふれあい運動会 好天、笑顔…また来年も!
……………4～5

新潟県中越大地震 そのとき鶴見は?

鶴見区社協より／その他お知らせ ……………6～7

[表紙写真:ここは鶴見のどこの空? 問題は下に…]



ここは鶴見のどこの空? ① 鶴見工業高校

上の写真は、鶴見区内のある学校で撮ったものです。② 鶴見中学校 応募方法は3ページを
「ある学校」とは、つぎのどれでしょう…ヒントは5ページ ③ 下野谷小学校 ご覧ください

ふれあいの輪を、もっと広げたい

●小野町地区社会福祉協議会活動紹介



納涼盆踊り大会

小野町地区社会福祉協議会は、小野町自治会、小野町第二自治会、下野谷汐入南部自治会、クリオレジダンス横浜鶴見自治会の4自治会からなる自治会連合を母体として作られています。

小野町地区は、小野町通り商店街を囲んだ場所にあります。昔は京浜重工業地帯の中核をなした日本鋼管鶴見製鉄所及び鶴見造船所もありましたが、現在は縮小され川崎製鉄所と合併してJFEの製鉄所となり、他には旭硝子株式会社と東芝株式会社がわずかに残るだけで昔の面影はなくなってしまいました。また、工場が盛んだった頃は従業員の家族寮・独身寮と今の団地みたいなものがありましたが、首都高速道路ができたために寮が全部壊されて人口も減少しました。現在は、工場跡地に理化学研究所遺伝子研究所ができて先端科学の基地になっています。

福祉の拠点としては、潮田地域ケアプラザをお借りして

活動しております。「高齢者の給食会」を年2～3回行い、自治会婦人部、区福祉保健センターの栄養士さんのご協力をいただき食事や歌などお互いに親睦をはかっています。また、下野谷小学校と汐入小学校の2校で「ふれあい給食会」を行い、民児協の会員と老人クラブの皆さんと一緒に小学生と給食をともにしお互いに交流をはかっています。

自治連合会との共催で8月に「納涼盆踊り大会」、10月には「体育祭」を開催しており、各町の高齢者との交流と親睦を深めております。小野町地区社会福祉協議会としては、社会福祉活動の一環としてふれあいの輪をもっと広げてよりよい地域活動のために組織を強化していかなければならないと痛感しています。今後どんどん研修会講演会等を増やして、地域活動の向上をめざしてがんばってきたいと思います。

【会長：佐藤 信男】

※今回は、生麦第一地区社会福祉協議会の活動を紹介します。

第7回 区社協役員メッセージ

自治会と地区社協は「福祉の両輪」

鶴見区社会福祉協議会
副会長 佐藤 信男 (さとう のぶお)



鶴見区のみならず、昨年5月26日に鶴見区社協副会長に就任いたしました佐藤です。私は昨年4月に鶴見区自治連合会会長に就任し、自治連からの選出で地域と社協を結びつけることに携わっています。地域福祉の推進には自治会と地区社協は車の両輪と同じように、ともに協力しながら、互いに不可欠な関係であると考えています。

そういったことをふまえて、今後も鶴見区の福祉の推進のために努力してゆきたいと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。

●善意銀行寄付

善意の寄付をありがとうございました

平成16年9月1日～平成16年11月31日()内は寄付回数

金銭をお寄せいただいた方々(敬称略)

阿佐 貞太郎(3)/平井 洵子(3)/工藤 高之祐(3)/小林 義邦(3)/大西 夏江/貴田 米吉(2)/鶴見区仏教婦人会/樋高 禮子/(社)鶴見法人会/中込 昭/内田 八江子/北村 俊一/米田 英行/ハーモニー「まどか」/小野 輝子/小野 岩雄/中村 国政/松岡 葉子・まさみ/ハーモニー音楽教室生徒一同・愛する会一同/小野 芳太郎/東台小学校三代ふれあい光の子フェスティバル実行委員会/横浜市交通局鶴見営業所/おっさんネットワーク/JFEエンジニアリング鶴見事業所/財団法人やつなみ会/竹村 タカ/白 蓉子(2)/(株)ナムコ(2)/荻島 克子/堀田 茂/鶴見区女性団体連絡協議会・鶴見懇話会/レッツダンス・ロイ/五神 嘉子/名取 福造/潮田地区センターチャリティダンスパーティー実行委員会/市場地区社会福祉協議会・市場地区自治連合会/小高 光江/鶴見生活衛生営業組合協議会/匿名1

物品をお寄せいただいた方々(敬称略)

(株)USS横浜/吉兆グループ(4)/鶴見塗装協同組合/小早川 章/小嶋 省三/(社)神奈川県宅地建物取引業協会横浜鶴見支部/勝浦 綾子/村上 良重/寛政中学校コミュニティハウス/匿名

区社協より

◆福祉総合相談

生活上の困りごと相談会。予約不可。直接会場へ。

○日時：1/18・25、2/1・8、3/1・8(全て火曜日)
13:00～16:00
(受付は15:00まで)

※弁護士相談は13:00に抽選6名

○場所：UNEXビル6階

◆子育てサポートシステム説明会

地域での子育て、してみませんか？子育てサポートシステムは、子育てをお手伝いして欲しい方、して下さる方で成り立つシステムです。登録ご希望の方は、説明会にご出席ください。

○日時：1/19、2/23、3/23
(全て水曜日)
14:00～15:00

○申込：前日までに、氏名・住所・TEL・利用/提供会員どちらを希望するかを電話またはFAXにて。

○場所：UNEXビル6階

◆第23回社会福祉大会

長年地域活動に携わってこられた団体や個人の功績に感謝するための大会を開催します。

○日時：2/19(土)13:30～16:00

○場所：鶴見公会堂
(鶴見中央3-14-1 フーガ6階)

○内容：第1部 式典(感謝状贈呈式)
第2部 講演
テーマ「地域を支える、地域で支える-協働のまちづくり」
(講師：横浜国際福祉専門学校 副校長 豊田宗裕氏)

○申込：直接会場へ

その他

◆講演「阪神・淡路大震災に学ぶ～その時被害者は～」

○日時：2/10(木)10:00～12:00

○場所：鶴見会館 高砂の間

○講師：NPO「被災地障害者センター」事務局 大賀重太郎氏

○申込・問合せ先：区障害児者団体連合会事務局
(☎☎574-1069)

「鶴見・あいねっと」の原案にご意見を!!

昨年から区民のみなさんの参加を得ながら策定作業を進めてきた「鶴見・あいねっと」(鶴見区地域福祉保健計画)の原案ができました。

1月11日(火)から2月10日(木)までの1ヶ月間、原案を公開し、区民のみなさんからご意見をいただく「パブリックコメント」を実施します。

この計画は、地域でみんなが健康に、安心して暮らせるような仕組みづくりを目的として策定しており、その内容には区民の皆さんのご意見を反映させていきたいと考えています。

ぜひ、原案をお読みいただき、ご意見をお寄せください。寄せられたご意見は、策定委員会等で検討し、計画づくりに活かしていく予定です。

「鶴見・あいねっと」の原案は、鶴見区役所、区内の地域ケアプラザ、地区センター等で配布するほか、鶴見区のホームページでもご覧いただけます。

○問合せ：

鶴見区福祉保健課事業企画係
☎510-1826 ☎510-1899

E-mail：
tr-fukuho@city.yokohama.jp

URL：
http://www.city.yokohama.jp/me/tsurumi/plan/fukusioken/tifuku.html

◆つばさ会(中途障害者の会)

ボランティア募集

リハビリ活動や定例会の手助けをお願いします。見学歓迎。

○日時：第2水曜日 13:30～15:30

○場所：潮田地域ケアプラザ2階

○申込・問合せ先：和田(☎521-2943)

◆配食ボランティア講座

寺尾地域ケアプラザ周辺で、配食サービスを実施するボランティアグループ立ち上げのための講座です。講座修了後、実習や準備を続け、6月頃から配食を開始する予定です。

○日時：2/19(土)～3/19(土)の毎週土曜日

○場所：寺尾地域ケアプラザ

○内容：地域の高齢者の実態について・高齢者に必要な栄養と食事形態について・食品衛生について・調理実習・配食グループ実習

○申込：氏名、住所、TEL、年齢を電話、FAX、Eメールにて

○参加費：500円

○申込・問合せ先：

寺尾地域ケアプラザ

(☎585-5566 ☎585-5737

E-mail：

terao@yokohamashakyo.jp)

◆ふれーゆ優待割引券配布中

プールまたは大浴場(セット利用は不可)が100円引きで利用できる優待割引券を区役所広報相談係で配布しています。ご利用の際は、1階受付に提示してください。3月末まで使えます。

○問合せ：横浜市高齢者保養研修施設

ふれーゆ(☎521-1010)

◆作業所自主製品の販売

区内の地域作業所等で作成している自主製品の販売会を行います。日用品やお菓子等、まごころこめて作った製品をぜひご覧ください。

○日時：1/28、2/25、3/25
(すべて金曜日)

10:00～15:00

○場所：鶴見区役所1階ロビー

※特に記載がないものは参加費無料

※地域によって配布時期が前後するため、すでに応募が終了している場合もございますが、ご容赦ください。

◆編集後記

企画と校正で毎号2回、区役所と区社協職員を含めて編集会議を開催。今回は地区社協の組織や活動の紹介で活発な意見がでました。昨年は大型台風や新潟県中越え地震など大きな自然災害が発生。災害弱者救済のためのボランティア活動が痛感されました。

今年の鶴見区が安心・安全な1年であるよう皆様とともに祈ります。(S)

●編集委員 小山和雄 山崎哲郎 松尾忠夫 平松繁利 添田聖一



JR鶴見駅徒歩5分/京急鶴見駅徒歩4分※みずほ銀行鶴見支店隣

鶴見区社協には、区民から「何かしたい」という問い合わせがたくさん寄せられました。

情報の入手が困難で、できることは限られていましたが、区民の関心の高さを感じました。

また、区内には「鶴見区災害ボランティアネットワーク」という団体があり、地元で災害が起こったときに手を取り合えるような地域づくりをめざして活動しています。

新潟県中越大地震 そのとき鶴見は？



11月25日、鶴見駅西口。鶴見区災害ボランティア専用のピスを着て、わずか1時間で100,107円ものご支援を頂き、小千谷市社会福祉協議会に送りました。

新潟レポート

～鶴見区社協から職員が派遣されました～

現地災害ボランティア本部への派遣として、小千谷市の災害ボランティアセンターでの勤務にあたりました（11/14～11/18）。被災者からの電話や窓口での相談受付や、被災地を回ってのニーズ調査が主な業務でした。

復興活動には、市外・県外から来たボランティアの力が非常に大きなウェイトを占めます。事実、ボランティアの多くは外部の人で、センターのスタッフも市外のボランティアや他県からの派遣職員などで構成されていました。地元精通した町会の方や民生委員などの協力を得て、情報が行き渡らない地域へのセンターの周知や、埋もれていたニーズの把握など、我々だけではできない活動に手を広げることができました。普段からの地域での「つながり」があったからこそできたのだと感じます。

被災したとき、外部からのボランティアだけでは限界があります。彼らが十分に力を発揮するには地元との連携が不可欠であり、復興するにつれ、活動の中心は地元の方たちへと転換していきます。神戸市では、阪神・淡路大震災後、多くのボランティアグループが立ち上がり、助け合いの町へと進んだそうです。小千谷市は、共同募金等も浸透しており、助け合いの気質や地域でのつながりは十分にあり、町を回ってもそのような空気を感じました。鶴見でも同様の災害が起きたときに、普段からの地域ぐるみでの助け合いと、外からの支援との連携を取れるような準備が必要であると感じました。

【区社協：小林】

【区社協：川嶋】

◆義援金◆

共同募金会・日本赤十字社などは災害直後より郵便局などで受付開始。この2団体は区社協内にも事務局があります。（「三宅島災害義援金」など義援金については区社協へお問い合わせください）

◆物資◆

現地の要望を確認・1箱に1品目・内容をはっきり表示…などが基本ルール。でも、必要なものは刻々と変化し、準備している間にも充足されてしまう場合も多く、現実には調整は難しいのです。やはり一番うれしいのは、お金かもしれません。

◆ボランティア◆

被災地に負担をかけないで出向くことが鉄則。神奈川県災害ボランティアネットワークでは、バスを仕立てて宿泊を最小限に抑えてのボランティア派遣を行いました。

【鶴見区災害ボランティアネットワーク】

「災害ボランティアコーディネーター研修会」をきっかけに、区内のボランティア団体を中心に平成12年11月に発足。メンバーは現在約20団体。

9月の防災の日に実施されている地域防災拠点での訓練や、地域ケアプラザや地区センターなど公共施設の防災訓練に積極的に参加しています。

また、今年度は南本牧ふ頭で実施された八都府市合同防災訓練に参加するとともに、新潟県中越大地震義援金募金についても、横浜高島屋前での活動のほか、単独で鶴見駅西口モールで活動を行いました。

月1回の定例会では、災害時のボランティアコーディネートのシミュレーションも取り入れています。



◆ランチさるびあ◆

（プロフィール）

設立：平成7年1月

活動日：火木曜日 9:00～12:30

土曜日 13:00～16:30

活動場所：潮田地域ケアプラザ

活動内容：高齢者向けのお弁当作り

平成6年の秋、潮田地域ケアプラザで行われた講習会がきっかけでできた女たちのグループ。メンバーは口コミで広がって現在は50名程度、平均年齢は65歳以上ですが、元気いっぱいです。

ここで作られる約40食のお弁当は、ボランティアグループ「鶴の恩返し」

に託され、在宅のお年寄りや障害のある方のもとへ配達されます。前日の買い出しからメニュー決めなど作業は大変ですが、評判は上々。

代表の三谷富子さんは「ボランティアをする人は心があたかい。そのやさしさに触れることが楽しい」と話します。「食は文化なんて言う人もいるけど、食は命でしょ？」だから、食中毒を防ぐために衛生には気を配り、喜ばれるメニュー作りを心がけています。地元の人たちだけでなく、わざわざ遠くから通ってくるメンバーも。料理教室に通うよりも楽しいんだとか。

【区社協：川崎】



鶴見区ボランティア 食事サービス連絡会の活動

鶴見区内では、1人暮らしの高齢者などを対象に、ボランティアによる会食会や、お弁当をお届けする配食活動が行われています。（今回紹介した「ランチさるびあ」もそのひとつ）地域ケアプラザの調理室や町内会館などを活用し、「食」を通して地域のコミュニケーションを図っています。

区内で活動する45団体のまとめ役が「鶴見区ボランティア食事サービス連絡会」。衛生的でおいしい食事を提供するた

め、ボランティアを対象とした衛生講習会・工場見学・調理講習会などの研修会のほか、会食・配食の活動を広く区民の方々に知っていただくため、区役所

のホールでのパネル展示や試食会を行っています。

12月1日には、横浜市中央卸売市場の見学と旬の食材を使った調理講習会を開催し、忙しい中の朝早い集合にもかかわらず多くの方に参加いただきました。グループごとに手際よく調理され、おいしそうな昼食ができました。

今回の研修が、今後の活動に役立てていただけることを願っています。

【区社協：宝木】



10月22日の試食会。互いに自慢のメニューを披露。

「福祉つるみ」を 定期購読してみませんか

定期購読を希望される方は、80円切手を4枚と必要事項（〒・住所・氏名・電話番号）を記入の上、封書で下記住所の「定期購読」係までお申し込みください。〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1 UNEXビル5F 鶴見区社会福祉協議会

◆読者の声

5年ほど前に、作業所に長皿を作ってもらいました。時間はかかりましたが、秋刀魚がのる長さをオーダーし、ぴったりのサイズ・色・質感に感激したことを思い出しました。（岡野様）

Q：点字ボランティアの活動状況、参加資格について知りたい。（藤井様）

A：神奈川県ライトセンター（旭区二俣川1-80-2 ☎364-0023）で毎年講座を開催しています。視覚障害者の基本理解のための入門講座の受講が前提となります。詳しくはホームページをご覧ください。直接お問合せください。

また、各区の社会福祉協議会が開催している所もあります（鶴見区では今のところ未定です）。

点字ボランティアの活動は、ライトセンターなどの蔵書の点字から、個人からの依頼（本、家電の説明書など）、自動販売機の表示作りなど様々。鶴見区にも「ブラインドメイトワルツ」というグループがあります。今後、グループ紹介でも取り上げていきますので、ご期待ください！

◆表紙「鶴見の空」クイズ＆愛読者アンケート

◆バスネット1,000円分を5名にプレゼント！



表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください！正解者に抽選でバスネットをプレゼントします。

応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答 ②〒・住所・氏名・TEL・性別・年齢 ③「福祉つるみ」を手にいれた場所 ④今号の中でよかった記事 ⑤取り上げてほしいテーマ ⑥感想を記入の上、2月28日（必着）までに下記住所「アンケート係」へ。

当選者は次号にてご紹介いたします。いただいたご意見は紙面でご紹介することがありますのでご了承ください。

第45号当選者 石見様 岡野様 齊藤様 牟田様 森岡様（五十音順）

〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1

UNEXビル5階 鶴見区社会福祉協議会

（☎：504-5616 Eメール：

yturumi-shakyo@guitar.ocn.ne.jp）

◆45号の答えは「③三ッ池公園」でした。

おやこのひろば 「そらまめ」 集合!

◆いつやっているの?

火・木・金 10:00~16:00
(年末年始・祝日を除く)

◆何をするの?

子ども同士、親同士が友だちになったり、子育てのことなどを気軽に話せる場所をめざしています。スタッフが子どもをお預かりしたり、常時イベントを提供しているわけではありません。主役はあくまで親と子。みんなで作っていく広場です。

未就学児の親子ならどなたでも使えます。(ただし、部屋の都合により一度に入れるのは10組まで)

◆利用料は?

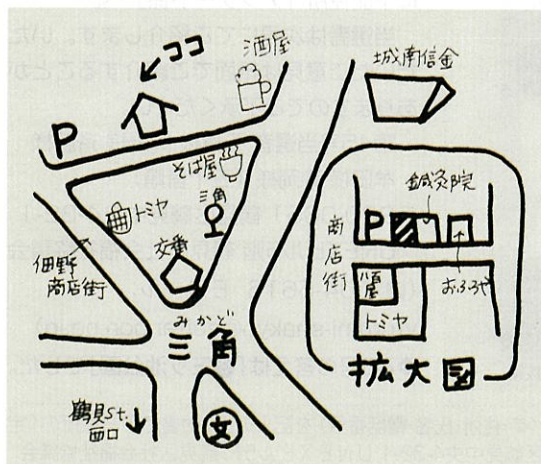
100円/3時間
(飲物は1杯50円)

◆どこにあるの?

JR鶴見駅西口より徒歩15分
市バス13・14・29・72・104系統「三角」下車徒歩4分

〒230-0061 佃野町27-28

TEL FAX 582-1293



Iさんは、オープン以来、週に数回は来るという常連さん。

最近、公園に寄ってからお昼ごはんを食べにやってきます。

以前住んでいた所では育児サークルや保育園の開放などが盛んだったとのこと。

でも、「鶴見には近くに遊ぶ場所が少ないのでここができてよかった」

「私自身ひいおばあさんにかわいがられたので、孫が産まれたら面倒をみようと思っていました」というのは、お孫さんと一緒に通ってくるNさん。「ここにあるおもちゃがとても素晴らしい。安全に遊べるし工夫がされていて」

そらまめには、常時1~2名のボランティアがお手伝いに来ています。

そのうちの1人、Kさんは「自分たちの役割は基本的には親子の見守り」と話します。

子どもが何人もいて親の目が届かないときや、新しく来た人が戸惑って

いる場合などに気を配ります。

「ここは世代の違う人ともふれあえる場所。自分の姑や嫁に言われるよりは他人に言われたほうが素直になれることもあるし(笑)」

毎月たくさんの新しい親子が訪れますが、はじめは友だちと一緒にないと不安を感じる人もいます。そんな人も「気軽に遊びにきてください!」と職員の小池さん。

【ボランティア募集中!】

日時: 火・木・金 9:30~16:30
のうち都合のよいときに
できれば、定期的に入っていただけ
る方 月数回、半日のみでも1日でも可
内 容: 基本的には子どもの見守り
読み聞かせ・飾りつけ・おもちゃ
作りなど、得意なことを活かして
いただくのも歓迎です
ただし、率先してプログラムを提
供するというよりも、親子が居心
地よく過ごすためのお手伝いです
連絡先: 区社協 ☎504-5619



ごはんを食べたりおもちゃで遊んだり、思い思いに

この運動会は「鶴見区障害児者団体連合会(障団連)」を中心に実行委員会を作り、11月3日の当日に向けて内容を話し合ったり、競技に使う道具やお菓子なども準備しました。

「子どもが楽しんでいる様子を見るとやめられない」と実行委員長の高嶋さん。「昨年は雨だったので、今年のお天気は何より」と、終始笑顔でした。



高嶋 会長



競技の大事な目印、そしてみんなのアイドルのワックンとワック



中に入るボランティアたちの打ち合わせも真剣

好天笑顔...また来年も!

第22回ふれあい運動会

グラウンドの片隅で、競技の道具をせっせと運ぶ男性たちの一群は、旭硝子(株)京浜工場鶴見労研同志会。今年の参加者は17名、全員ボランティアです。常連の方々は「始めは、まず役員の自分たちが経験しようと思って。他の人たちにもここに来て何かを感じてもらえれば」「ここに来るといろいろな家族があるんだな、ということがわかる。他人事ではない」と話してくれました。



旭硝子の皆さん。中には22年間参加し続けている人も...

競技の進行は体育指導委員・青少年指導員の皆さんが、そしてお客さんの接待は鶴見区ボランティア連絡会の皆さんが担当してくださいました。毎年快くグラウンドを提供してくださる鶴見中学校、昼休みに演奏を披露してくれた鶴見中のプラスバンド部など、たくさんの方のご協力がありました。どうもありがとうございました!



パン食い競争に並ぶ列。パンがなくならないか心配...

キリン「ファイア」
ゴールドラッシュ

豆のうまみ
ぎっしり

キリンビバレッジ
http://www.beverage.co.jp

のんだあとはリサイクル